



## 〈午後の部〉 各地区発表

- ①命の貯蓄体操(祇王) ②ヤグラ太鼓(和田老人クラブ)  
 ③情熱のマリアッチ(生きがい教室) ④野洲小唄(旧野洲町)  
 ⑤ボケない音頭(中里・兵主)



第4回スポーツ大会成績表 地区別得点表 H25.10.23(木)						
競技種目	優勝					
	中里	兵主	野洲	三上	祇王	篠原
ボールはこび	8	6	6	9	4	10
血圧測定	2	10	5	10	12	6
輪投げリレー競走	10	2	4.5	9	11.5	11
玉入れ競技	6	7	2.5	1	4	5
得点合計	26	25	18	29	31.5	32
順位	第5位	第6位	第7位	第4位	第3位	準優勝
H24年順位	第3位	優勝	第7位	第4位	第6位	準優勝
						第5位

十月二十九日・三十日と一泊二日の親睦旅行をしました。参加者一〇九人。バス三台で野洲各地からの出発。名神高速の黒丸パーキングで集合、一路北陸へと向いました。南条SAで休憩、加賀ICで休憩、加賀ICから月うさぎの里へ、そこで昼食・休憩を取りました。

その後、北陸道から能登有料道路へと続き、千里浜なぎさドライブウェーを走ることになりました。対向車も少なく爽快な走りを続けました。通りは満ち潮であった。通過時は満ち潮であったのか走行する道路巾は狭いようでした。引き潮であると道巾も広く、もっと爽快であったかも知れません。千

里浜なぎさ道終点で休憩しました。能登の道を北へ北へと走り一時間半程で見学地に着きました。有名な棚田です。幾何学模様を描く棚田を観賞しました。

高低の差はありませんが、野洲

地域でも五十年ほど前は、どこ



## 〈午前の部〉

- ・開会式・ボールはこび・血圧測定・輪投げリレー競争  
 ・交通安全○×クイズ(オープン)



第4回

## スポーツ大会 写真特集

健康部長

齊藤勝成

市長始め、来賓多数をお迎えし盛大に挙行しました。参加者は千二百人でした。

十月二十九日・三十日と一泊二日の親睦旅行をしました。名神高速の黒丸パーキングで集合、一路北陸へと向いました。南条SAで休憩、加賀ICで休憩、加賀ICから月うさぎの里へ、そこで昼食・休憩を取りました。

その後、北陸道から能登有料道路へと続き、千里浜なぎさドライブウェーを走ることになりました。対向車も少なく爽快な走りを続けました。通りは満ち潮であった。

さあ、待っていた夜の楽しい宴会の時間がやってきました。御陣乗太鼓での始まりで、酒を酌み交わし、歓談のうちに時間が進みました。そしてカラオケも次々と歌われ、盛り上がりました。

翌日九時にホテル出発。約二百五十軒の露天商が並ぶといわれる輪島名物の朝市も雨のため行くことができませんでした。残念でした。

最後は、北陸道徳光パークング「まつどう車遊館」で海産物を買い、南条、多賀サビスエリアで休憩し、帰路につきました。

休憩したりで時間を過ごしました。

小高い丘の上に、ギネスブックに登録されている世界一長いベンチがあると聞いていましたが、雨のため行けませんでした。でも一部の人は傘をさして行かれたようです。

次は、七〇〇年の歴史ある曹洞宗大本山總持寺祖院を拝観しました。古刹を説明されていましたが、雨の中でしたので十分聞きとれませんでした。

立派な山門と法堂が地震で傾き改修工事をされている所しか記憶に残っていません。

昼食は能登金剛センターにて、門本店で食べ、売店で時間を費やしました。

最後は、北陸道徳光パーク

ング「まつどう車遊館」で海

産物を買ひ、南条、多賀サ

ビスエリアで休憩し、帰路に

つきました。

にでも見かける人手による田圃の作業の光景を思い浮かべていました。作業と管理の大変なことに、再認識させられました。終わり頃に夕立ちに会い濡れた状態でバスに乗りました。

二十分钟ほどでホテル高州園に着きました。バスの長旅でしたが、皆さん疲れを感じておられないようでした。

さあ、待っていた夜の楽しい宴会の時間がやってきました。御陣乗太鼓での始まりで、酒を酌み交わし、歓談のうちに時間が進みました。そしてカラオケも次々と歌われ、盛り上がりました。

翌日九時にホテル出発。約二百五十軒の露天商が並ぶといわれる輪島名物の朝市も雨のため行くことができませんでした。残念でした。

最後は、北陸道徳光パーク

ング「まつどう車遊館」で海

産物を買ひ、南条、多賀サ

ビスエリアで休憩し、帰路に

つきました。

## 「ニュースキャスターになりきり体験」

祇王地区老人クラブ  
文化部長 明保能 弘章



「わあ、私たちが映つてい  
る!」入口のおなじみのNHK  
のキャラクター・どーもくんカ  
メラによる映像が映し出された

モニター



画面を見  
ながら

H.K.大阪  
のBKブ  
ラザに入  
場、見学  
の開始で  
す。

成する技術(クロマキー)を使つ  
て実際のテレビの中の空間が体  
験できます。

「あれ、この顔見た事があるぞ」  
「そうです、ここの見学者一番  
の人気コーナーなりきりスタジ  
オです。

祇王地区老人クラブでは、二  
月二十五日、「会員一日研修・親  
睦旅行」を開催、総勢九十二人  
でアサヒビール吹田工場とNH  
K大阪放送局を見学しました。

先ず、BKインフォメーション  
では、NHKのこれまでの「連  
続テレビ小説」「大河ドラマ」な  
どのダイジェストがすべて見ら  
れます。ちなみにこの日は昭和  
二十一年の「おはなはん」、五十  
八年の「おしん」を検索、当時の  
懐かしい雰囲気を味わいました。  
続いてNHKグラフティで  
は、BKの歴史とその当時の出来  
事が映像を交えて紹介されてい  
ます。筆者の生年(一九四〇年)  
を検索しますと、戦雲急をつけ  
る「日独伊三国同盟」の映像記  
事などが紹介されました。

わくわくスタジオでは、放送  
で使用している複数の画像を合  
わせて、娘や若い婦人たち  
は親戚を頼つてしまふ野田  
を離れていたそうです。  
しかし、監視に当たった田  
中さんの差別なく紳士的な態  
度と地元の交流がよかつたの  
が、何事も起こらず平和裡に  
引き揚げて行ったとの話もし  
も多かったです。

お天気キャスターに堤一男さ  
ん(上屋)、ニュースキャスターに田中忠男  
さん(北)と堤勇さん(上屋)  
がなりきり、すまし顔で、目線  
を落とさないで原稿を読むこと  
のできるカメラ装置などを使つ  
て貴重な体験をしました。

続いて九階の見学コースに移  
動です。

野田方面のウォーキングで、  
浦谷清平様から聞いた捕虜収  
容所の話が印象深く残つてい  
るのでそのことを書きます。

太平洋戦争中の昭和二十年  
四月末、突然、野田捕虜収容  
所に、オランダ人一人、イ  
ンドネシア人一八〇人の捕虜  
がやってきました。

野田沼を干拓し食糧増産す  
るためだったのです。

収容所跡は、現在、野田墓  
地となって、「命の井戸」と  
呼ばれる井戸が残っているだ  
けです。今は当時のことを知  
る面影もありません。

終戦を迎えると立場が変わ

## ウォーキングで 地域の再発見

兵主地区長 吉川 周男

が「滋賀県民の戦争体験証  
言」のビデオに、自らが出演  
して語られたものを次に述べ  
ます。

當時は食糧不足のため、食  
糧増産が叫ばれ、琵琶湖内湖  
を農地にするために、干拓を  
進めるのですが、働き盛りの  
男性は皆戦争にかり出され、  
若い男はいなく、残つている  
のは、子どもや老人・女で、  
干拓作業は大変でした。そこ  
に捕虜が来たので助かったそ  
うです。



兵主・中里地区では、平成  
二十四年七月から、ウォーキ  
ングを続けています。今やメ  
イン行事として定着し、回を  
重ねています。

事前案内する

ことで関心も

高くなり積極的な参加が多く  
なりました。

好評を得たもの、予想外の  
思い出が残つたものなど内容  
見学時のセットで撮影された映  
像が放映される、終盤に近い  
「一九六〇年先の「おじょうさん」  
を見るのが楽しみです。

テレビ第1スタジオでも同様  
に撮影は行われていませんでし  
たが、ここでは、「バラエティ生  
活笑百科」「歴史秘話ヒストリア」  
などの大阪局制作の番組が収録  
されています。

今回、そのうちのひとつ、  
野田方面のウォーキングで、  
浦谷清平様から聞いた捕虜収  
容所の話が印象深く残つてい  
るのでそのことを書きます。

太平洋戦争中の昭和二十年  
四月末、突然、野田捕虜収容  
所に、オランダ人一人、イ  
ンドネシア人一八〇人の捕虜  
がやってきました。

以上、約一時間ほどの駆け足  
見学で、お目当ての撮影現場が  
見られなかったことなど、必ず  
しも満腹とはいきませんでした

が、普段触れることが出来ない  
貴重な体験になりました。

浦谷様のお話を聞いた後、  
「命の井戸」のある収容所跡  
を散策し、生きることが厳し  
かった当時を偲んで、皆さんと  
ともに感動を共有しました。

ウォーキングを通して私た  
ちの住む町の再発見につなが  
る歴史の見直し散歩となりま  
した。

浦谷様のお話を聞いた後、  
「命の井戸」のある収容所跡  
を散策し、生きることが厳し  
かった当時を偲んで、皆さんと  
ともに感動を共有しました。

ウォーキングを通して私た  
ちの住む町の再発見につなが  
る歴史の見直し散歩となりま  
した。

浦谷様のお話を聞いた後、  
「命の井戸」のある収容所跡  
を散策し、生きることが厳し  
かった当時を偲んで、皆さんと  
ともに感動を共有しました。

ウォーキングを通して私た  
ちの住む町の再発見につなが  
る歴史の見直し散歩となりま  
した。

浦谷様のお話を聞いた後、  
「命の井戸」のある収容所跡  
を散策し、生きることが厳し  
かった当時を偲んで、皆さんと  
ともに感動を共有しました。

ウォーキングを通して私た  
ちの住む町の再発見につなが  
る歴史の見直し散歩となりま  
した。

浦谷様のお話を聞いた後、  
「命の井戸」のある収容所跡  
を散策し、生きることが厳し  
かった当時を偲んで、皆さんと  
ともに感動を共有しました。

ウォーキングを通して私た  
ちの住む町の再発見につなが  
る歴史の見直し散歩となりま  
した。

浦谷様のお話を聞いた後、  
「命の井戸」のある収容所跡  
を散策し、生きることが厳し  
かった当時を偲んで、皆さんと  
ともに感動を共有しました。

ウォーキングを通して私た  
ちの住む町の再発見につなが  
る歴史の見直し散歩となりま  
した。

浦谷様のお話を聞いた後、  
「命の井戸」のある収容所跡  
を散策し、生きることが厳し  
かった当時を偲んで、皆さんと  
ともに感動を共有しました。

ウォーキングを通して私た  
ちの住む町の再発見につなが  
る歴史の見直し散歩となりま  
した。

浦谷様のお話を聞いた後、  
「命の井戸」のある収容所跡  
を散策し、生きることが厳し  
かった当時を偲んで、皆さんと  
ともに感動を共有しました。

ウォーキングを通して私た  
ちの住む町の再発見につなが  
る歴史の見直し散歩となりま  
した。

浦谷様のお話を聞いた後、  
「命の井戸」のある収容所跡  
を散策し、生きることが厳し  
かった当時を偲んで、皆さんと  
ともに感動を共有しました。

ウォーキングを通して私た  
ちの住む町の再発見につなが  
る歴史の見直し散歩となりま  
した。

浦谷様のお話を聞いた後、  
「命の井戸」のある収容所跡  
を散策し、生きることが厳し  
かった当時を偲んで、皆さんと  
ともに感動を共有しました。

ウォーキングを通して私た  
ちの住む町の再発見につなが  
る歴史の見直し散歩となりま  
した。

浦谷様のお話を聞いた後、  
「命の井戸」のある収容所跡  
を散策し、生きることが厳し  
かった当時を偲んで、皆さんと  
ともに感動を共有しました。

ウォーキングを通して私た  
ちの住む町の再発見につなが  
る歴史の見直し散歩となりま  
した。

浦谷様のお話を聞いた後、  
「命の井戸」のある収容所跡  
を散策し、生きることが厳し  
かった当時を偲んで、皆さんと  
ともに感動を共有しました。

ウォーキングを通して私た  
ちの住む町の再発見につなが  
る歴史の見直し散歩となりま  
した。

浦谷様のお話を聞いた後、  
「命の井戸」のある収容所跡  
を散策し、生きることが厳し  
かった当時を偲んで、皆さんと  
ともに感動を共有しました。

ウォーキングを通して私た  
ちの住む町の再発見につなが  
る歴史の見直し散歩となりま  
した。

浦谷様のお話を聞いた後、  
「命の井戸」のある収容所跡  
を散策し、生きることが厳し  
かった当時を偲んで、皆さんと  
ともに感動を共有しました。

ウォーキングを通して私た  
ちの住む町の再発見につなが  
る歴史の見直し散歩となりま  
した。

浦谷様のお話を聞いた後、  
「命の井戸」のある収容所跡  
を散策し、生きることが厳し  
かった当時を偲んで、皆さんと  
ともに感動を共有しました。

ウォーキングを通して私た  
ちの住む町の再発見につなが  
る歴史の見直し散歩となりま  
した。

浦谷様のお話を聞いた後、  
「命の井戸」のある収容所跡  
を散策し、生きることが厳し  
かった当時を偲んで、皆さんと  
ともに感動を共有しました。

ウォーキングを通して私た  
ちの住む町の再発見につなが  
る歴史の見直し散歩となりま  
した。

浦谷様のお話を聞いた後、  
「命の井戸」のある収容所跡  
を散策し、生きることが厳し  
かった当時を偲んで、皆さんと  
ともに感動を共有しました。

ウォーキングを通して私た  
ちの住む町の再発見につなが  
る歴史の見直し散歩となりま  
した。

浦谷様のお話を聞いた後、  
「命の井戸」のある収容所跡  
を散策し、生きることが厳し  
かった当時を偲んで、皆さんと  
ともに感動を共有しました。

ウォーキングを通して私た  
ちの住む町の再発見につなが  
る歴史の見直し散歩となりま  
した。

浦谷様のお話を聞いた後、  
「命の井戸」のある収容所跡  
を散策し、生きることが厳し  
かった当時を偲んで、皆さんと  
ともに感動を共有しました。

ウォーキングを通して私た  
ちの住む町の再発見につなが  
る歴史の見直し散歩となりま  
した。

浦谷様のお話を聞いた後、  
「命の井戸」のある収容所跡  
を散策し、生きることが厳し  
かった当時を偲んで、皆さんと  
ともに感動を共有しました。

ウォーキングを通して私た  
ちの住む町の再発見につなが  
る歴史の見直し散歩となりま  
した。

浦谷様のお話を聞いた後、  
「命の井戸」のある収容所跡  
を散策し、生きることが厳し  
かった当時を偲んで、皆さんと  
ともに感動を共有しました。

ウォーキングを通して私た  
ちの住む町の再発見につなが  
る歴史の見直し散歩となりま  
した。

浦谷様のお話を聞いた後、  
「命の井戸」のある収容所跡  
を散策し、生きることが厳し  
かった当時を偲んで、皆さんと  
ともに感動を共有しました。

ウォーキングを通して私た  
ちの住む町の再発見につなが  
る歴史の見直し散歩となりま  
した。

浦谷様のお話を聞いた後、  
「命の井戸」のある収容所跡  
を散策し、生きることが厳し  
かった当時を偲んで、皆さんと  
ともに感動を共有しました。

ウォーキングを通して私た  
ちの住む町の再発見につなが  
る歴史の見直し散歩となりま  
した。

浦谷様のお話を聞いた後、  
「命の井戸」のある収容所跡  
を散策し、生きることが厳し  
かった当時を偲んで、皆さんと  
ともに感動を共有しました。

ウォーキングを通して私た  
ちの住む町の再発見につなが  
る歴史の見直し散歩となりま  
した。

浦谷様のお話を聞いた後、  
「命の井戸」のある収容所跡  
を散策し、生きることが厳し  
かった当時を偲んで、皆さんと  
ともに感動を共有しました。

ウォーキングを通して私た  
ちの住む町の再発見につなが  
る歴史の見直し散歩となりま  
した。

浦谷様のお話を聞いた後、  
「命の井戸」のある収容所跡  
を散策し、生きることが厳し  
かった当時を偲んで、皆さんと  
ともに感動を共有しました。

ウォーキングを通して私た  
ちの住む町の再発見につなが  
る歴史の見直し散歩となりま  
した。

浦谷様のお話を聞いた後、  
「命の井戸」のある収容所跡  
を散策し、生きることが厳し  
かった当時を偲んで、皆さんと  
ともに感動を共有しました。

ウォーキングを通して私た  
ちの住む町の再発見につなが  
る歴史の見直し散歩となりま  
した。

浦谷様のお話を聞いた後、  
「命の井戸」のある収容所跡  
を散策し、生きることが厳し  
かった当時を偲んで、皆さんと  
ともに感動を共有しました。

ウォーキングを通して私た  
ちの住む町の再発見につなが  
る歴史の見直し散歩となりま  
した。

浦谷様のお話を聞いた後、  
「命の井戸」のある収容所跡  
を散策し、生きることが厳し  
かった当時を偲んで、皆さんと  
ともに感動を共有しました。

ウォーキングを通して私た  
ちの住む町の再発見につなが  
る歴史の見直し散歩となりま  
した。

浦谷様のお話を聞いた後、  
「命の井戸」のある収容所跡  
を散策し、生きることが厳し  
かった当時を偲んで、皆さんと  
ともに感動を共有しました。

ウォーキングを通して私た  
ちの住む町の再発見につなが  
る歴史の見直し散歩となりま  
した。

浦谷様のお話を聞いた後、  
「命の井戸」のある収容所跡  
を散策し、生きることが厳し  
かった当時を偲んで、皆さんと  
ともに感動を共有しました。

ウォーキングを通して私た  
ちの住む町の再発見につなが  
る歴史の見直し散歩となりま  
した。

浦谷様のお話を聞いた後、  
「命の井戸」のある収容所跡  
を散策し、生きることが厳し  
かった当時を偲んで、皆さんと  
ともに感動を共有しました。

ウォーキングを通して私た

今年こそ  
夢実現に熱い胸

今年こそ  
はしやぐ私の青い夢

山本 丈夫

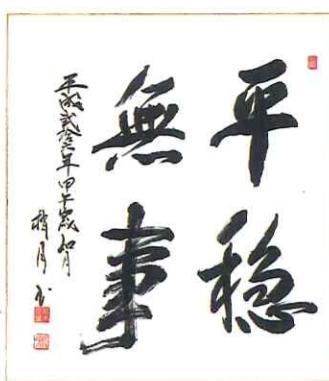
森井かの汀

今年こそ  
日々好日を詩に生く

西村美恵子

冠句

三



霜柱 踏みしめ歩く散歩道 河瀨 雅晴  
牛の眼に 朝日輝く大枯野 木村 郁夫  
リズムよく 回る水車や猫柳 神山 久子  
心病む 友に鶴おり春を待つ 井口 久枝  
水仙で 始まる庭の花ごよみ 西中 文江  
嫁ぐ子に 余日少なき迎春花 田中 善輝

俳  
句

おだやかな状態  
平穏無事  
平成二十六年  
甲午(きのえうま)歳  
梢月(高木義雄の雅号)  
如月  
この作品は高木義雄さんが  
「これ今度の老ク連の会報に  
のせてや」と自ら事務局に  
持つて来られたものです。で  
も残念ながら一月十五日に  
八十二歳で亡くなられ、遺作  
となりました。

今年こそ  
野望を賭ける男の歩  
寄せる波  
診察券の数が増え  
森井  
岡本  
義雄

# 情歌



大津繪

キイキイとモズは高鳴き  
秋氣配  
厨にひとり雑魚を煮ており  
終の花の盛りの 谷 佳子  
裏鬼門  
ふれれば白き香をこぼす 西村 康子

古稀爺 川柳  
七転八倒 馬頬み  
中村 茂麿

短歌

春を愛するひとは 心清き人  
すみれの花のよくな  
ほくの友だち

コスモス 押し花

仲間と共に、地域と共に輝いて



～会員章を胸に  
活動の輪を広げよう～  
**頒布価格 1,000円**

ラ一を生かした美しい会報にしようと努めきました。

本部の事業展開、部会活動、地区活動のトピックを記事にしてようと関係者の方々に依頼し、早く原稿を寄せていただきました。ありがとうございました。

「文芸の窓」欄にも巾広く作品を寄せていただきました。紙面を豊かにしてくださったことに感謝します。

各分野で原稿をいただいたい方にお礼を申し上げ、編集後記とします。

春は名のみの 風の寒さや  
谷の驚歌は思えど  
時にあらずと 声も立てず  
時にあらずと 声も立てず  
「早春賦」の歌。まさに今  
季節だなあと感じつつ春を待つ  
思ひいつぱこに編集に当つてき  
ました。

この会報が皆さんに届くの  
は弥生三月。グーンと早春の息  
吹を感じるころです。

今回は全ページをカラーペー  
ントしました。

編集後記

文化振興担当(文学の散歩道) 谷  
TEL 五八七一六〇五三  
までお願いいたします。

情歌募集

今回掲載の「情歌」は「文学散歩道」より抜粋したものです。情歌をめぐる方を募集しています。